

国立大学法人愛媛大学及び国立大学法人高知大学
共同入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成29年3月23日(木) 14:00~15:15 総合研究棟2階 第3会議室	
委員	委員長 吉田 晋(大学准教授) 委員 安藤 潔(弁護士) 委員 木本 敦(公認会計士)	
審議対象期間	平成28年1月1日~平成28年12月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考)
工 事(小計)	6件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問に対して回答した。
一般競争入札 (政府調達に対する指定工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	5件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随 意 契 約	1件	
設計・コンサルティング業務(合計)	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容		

質 問	回 答
<p>1. 愛媛大学</p> <p>(1) 一般競争入札方式 【愛媛大学(医病)附属病院本館屋上チラーユニット圧縮機改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の内の部品の割合はどれくらいか。工数の違いで入札価格に差が出たのか。 ・ 工期はどれくらいか。 ・ 参加業者の拠点が松山にあることで、工数に係る人件費が少なくて済むことが、入札結果に影響を与えているのか。 <p>(2) 一般競争入札方式 【愛媛大学(医病)基幹・環境整備(ナースコール等更新)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の評価点と、総合評価の兼ね合いを教えてください。 ・ 競争参加資格確認時の点数と、開札時の点数の乖離の理由を教えてください。 <p>(3) 一般競争入札方式 【愛媛大学(医病)基幹・環境整備(空調ダクト等改修)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の入札はあったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約額 594 万のうち、187 万ぐらいが工事費、残りが機器の値段になる。 ・ 2 ヶ月半である。 ・ 企業がどれだけ技術者・職人を抱えているかどうかで工賃が決まってくる。下請を出すとなってくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「愛媛大学②」の 22 ページをもとに説明 ・ 施工体制が確認できれば、30 点をプラスしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目の入札は不落（1 社応札）であり、再公告・入札を行った結果、落札となった。

質 問	回 答
<p>2. 高知大学</p> <p>(1) 一般競争入札方式 【高知大学(医病)ハイブリッド手術室取設 機械設備工事】</p> <p>・質疑なし</p> <p>(2) 一般競争入札方式 【高知大学(朝倉)人文社会科学部棟他トイ レ改修工事】</p> <p>・1つの工事で他業種が入ってくると高落札率になるのはなぜか。</p> <p>・数量公開を行った案件であるか。</p> <p>・①の案件と②の案件の入札スケジュールに係る日数に開きがあるのはなぜか。</p> <p>(3) 随意契約方式 【高知大学(医病)中央診療棟他エレベーター 改修工事】</p> <p>・修理・保守等に関して同一のメーカーしか対応できないのは、競争原理が働かないのでは。</p>	<p>・工種が多いとそれだけ必要な各種職人の数が増え、また工事個所が2か所に分かれているため、一つの工事ではあるが、通常より経費等が上がってくる。しかし、積算を行う際は、このような要因を考慮しないため、予定価格と入札価格が近接したものと思われる。</p> <p>・数量公開は行っていない。</p> <p>・業者がいないかも知れないということがあったため、①の案件に関しては余裕を持たせた。基本は②のスケジュールである。</p> <p>・エレベーターに関しては、ロープ等の消耗品については、メーカーによる部分改修を行う。レール等の本体部分に関しては、全面改修となり、一般競争によりリニューアルを行う。</p>

3.その他

・今後の抽出案件について、高落札率の案件で、予定価格を超えている参加者が有る場合は、抽出しなくてもよいと考えている。